



都市環境デザイン会議 関東ブロック

第16回 一言サロン

都市デザイン視点で見た仮設市街地 ～松川淳子氏をお迎えして

日 時 2012年10月4日（木） 18：30～20：30

会 場 法政大学 市ヶ谷田町校舎2階T209教室1階都市スタジオに変更

出席者

パネラー 松川 淳子 氏

(株)生活構造研究所 取締役・特別顧問、公益財団法人東京都公園協会理事など)

聞き手 高見 公雄 氏

(法政大学 都市デザイン研究室 教授)

会 場 「仮設市街地」とは、“地震等の自然災害で、都市が大規模な災害に見舞われた場合、被災住民が被災地内または近傍に留まりながら、共同して被災地の復興をめざしていくための、復興までの暫定的な生活を支える場となる市街地をいう”

「提言！仮設市街地—大地震に備えて—」より
松川淳子氏をお迎えして、東京都下に、「仮設市街地」（シャドウプランも含め）を計画する際の専門家の係わり方、リーダの育成など実現に向けた手法を、仮設市街地の意義・歴史・これまでの取り組みなどを事例にお伺いする。

またプランニングを考えるうえで、“都市デザイン視点”とあるが、都市活動の環境再編成の課題を盛り込みたい。

会 費 会員 1,000円 非会員 1,500円 学生 500円

申込み 氏名・所属・連絡先（メールアドレスなど）をお書き添えの上、件名「JUDI ひとつサロン10/4参加希望」とし、以下のアドレスへお送りください

kurihara@u-planet.jp

